

## カリキュラム・マネジメント研修

8月19日（木） カリキュラム・マネジメント研修会を実施しました。

令和4年度の入学者から全面実施される新学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」が求められています。また、広島県では、平成26年度に「学びの変革アクションプラン」を策定し、生徒の主体的な学びをより一層推進しています。今年度からの3年間は、その仕上げの期間で、本校は「『高等学校課題発見・解決学習推進プロジェクト』に係る学科等の特色を生かしたカリキュラム開発研究指定校」の指定を受け、主に「総合的な探究の時間」を中核に据え、学校の教育目標を具現化していくためのカリキュラム開発の研究及び実践を行っています。

今回の研修会では、教育活動を評価するための基礎的な研究として、

①どのように評価していくのか（マスタールーブリックの検討）

②各教科で1つの単元を取り上げ、どのように指導していくのか（単元テンプレートの作成）

を検討しました。

教務主任からの研修会の目的についての説明の後、グループワークを行いました。本校で育成したい資質・能力として、①論理的・批判的思考力、②伝える力・表現力、③他者との協働力の3つをあげています。事前にそれらをどのように定義付けるのか、また、評価基準をどのようにするのかを原案を示した上で、各グループで話し合って意見を出し合いました。



また、各教科では事前に令和4年度入学者を想定して、1つの単元をどのように指導していくのかをまとめた単元テンプレートを作成しました。作成上の難しさや今後の研修で必要となる事項を各教科から出し合い、共有しました。

暑い日でしたが、熱のこもった議論ができました。

